

第52号・1986年3月5日

公団王子五丁目団地自治会

東京都北区王子五丁目2番
編集・自治会広報部 美喜
編集責任者・木元章
発行責任者・木元章

自治会連絡所 (集会所No.1)

電話(913) 6723

(開設時間) 月～金 10時～16時

王子五丁目団地 自治会会報

水もれ被害 すぐ自治会へ

水をきり洗った洗濯機などに発生する水もれ被害が、管理事務所でも注意を呼びかけています。自治会では、水もれ被害をうけた人のために見舞い金をおくる制度をもうけています。被害にあらわれた人はすぐに自治会に申請するか、自治会役員にお知らせください。(自治会役員の電話は「団地生活」へ「帳」をみるか「む」をみるか)

公団住宅を まもるため

みんなが「国民署名」を

公団の「縮小・民営化」 行革審が審議急ぐ

北区議会に陳情 王子五丁目、豊島五丁目、赤羽台自治会

王子五丁目団地自治会と豊島自治会の三つの団地自治会の全五丁目団地自治会、赤羽台団地 役員は連日二月二十四日、北縮小・民営化に反対して政府に

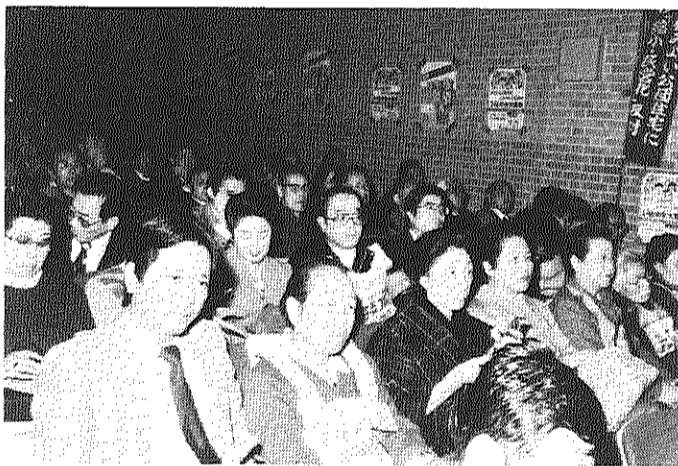
意見書を提出することを要請する「陳情書」をたしました。この陳情には王子五丁目自治会からは木元章会長と山本安事務局長が自治会代表で参加しました。



東京集会に王 五も多勢参加

住都公団「縮小・民営化」阻止2・28東京総決起集会。都内各団地の代表の決意が示されました。

公団住宅の「縮小・民営化」阻止東京総決起集会は二月二十八日、東京・千代田区の千代田公会堂で開かれました。これは東京23区、同多摩公団自治協と住都労組東京支部、同多摩分會、団地サービス労組東京支部の五団体が共同で開いたもので、都内全域から約千人が参加。『民営化阻止』の熱気につつまれた会場のふん囲気、特別参加した中央合唱団員の打ち鳴らす力強い太鼓のひびきがさらにもりあげました。また会場では、『民営化阻止』のゼッケンをつけて参加した王子五丁目自治会代表十六人の姿が目立ちました。集会では公団自治協代表や社労会、共産党代表のあいさつ、各党からのメッセージ紹介につづいて、重大な事態にきている



東京総決起集会に参加した王子五丁目団地の代表(前の2列。前列左端は木元自治会長)

行革審の審議急ピッチ! 公団住宅を縮小・民営化してしまおうとする審議は、さいしょの予定よりもどんどん早くすすんでおり、もう手をこまねているときではありません。全国公団住宅自治会協議会と住都公団労組、団地サービス労組の三団体は共同で、反対署名運動を始めるのとおわせて、全国主要都市で決起集会を開いてきました。そして三月十六日には東京で中央大集会を開いて、『縮小・民営化』反対の力をしめします。

国民署名を みんなでとりくもう

審議が急ピッチというのは、少し前までは、臨時行政改革推進審議会の特殊法人問題等小

うそではありません。

全国公団自治協と住都労、団地サービス労組の三団体は、公団住宅の「縮小・民営化」反対を大きくかけることに「公団住宅をまもり、公共住宅をよせ」という三百万人国民署名を全国に広げる運動をはじめました。王子五丁目団地自治会も積極的にとりくみます。この国民署名は行革審・土光徹夫会長に提出するもので、

一緒に参加しましょう

まもれ公団住宅
ふやせ公共住宅
3・16中央大集会

とき 3月16日(日) 午後0時半から ところ 日比谷野外音楽堂 ☆ 住都公団の「縮小・民営化」に反対する中央大集会です。この集会に王子五丁目団地自治会からも多勢参加したいと思えます。みなさん一緒に参加しましょう。〈集会〉当日、午前10時半、なかよし広場。

もし公団が「縮小・民営化」されたら

自分の家を持っているのに、わざわざ公団住宅に入居する人はほとんどいません。前の住宅やアパートにいて立ち退きを迫られた人、子どもが生まれ狭いアパート住まいからやむをえずに入居した人など、団地へ入居した人たちの理由はさまざまです。共通しているのは、少しでも人間らしい暮らしがしたいという願いがあることです。

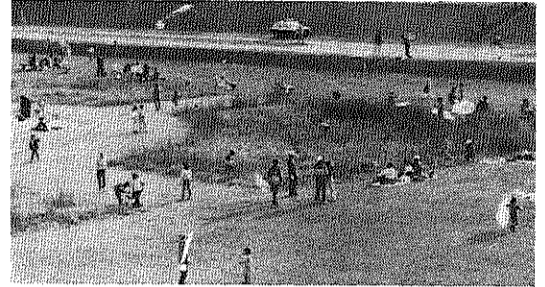
ますます高家賃に ますますマイホームも遠ざかるばかり

快適な住環境のもとで一家を営んで暮らしたい、この願いが、公団住宅の「縮小・民営化」によってますます高家賃に、ますますマイホームも遠ざかるばかり

公団住宅の「縮小・民営化」と民間賃貸住宅の関係を考えよう。公団住宅の「縮小・民営化」によって、民間賃貸住宅の家賃が上がり、マイホームも遠ざかるばかり

この例のように、民営化されたら、いまだに高い家賃はまだまだ上がる。このままでは、公団住宅の「縮小・民営化」によって、民間賃貸住宅の家賃が上がり、マイホームも遠ざかるばかり

寒かったけれど 楽しかった冬



たこ上げたよ

北区青少年王子地区委員会の恒例のたこくりとたこ上げ大会が一月二十六日と二月一日にひらかれ、五五団地の子どもたちがはじめ多くのご参加がありました。

一月二十六日は朝から昼まで王子小学校でたこ作り。桜田小の三角先生たちおとなの指導で、竹ひごも紙、のりなどを一つひとつ使って、彦彦だこどいう珍しいたこを作りあげました。(写真下)

二月二日は、作ったたこをみんながもちよって、荒川の河川敷でたこ上げ大会(写真上)この日は晴天にめぐまれ、みんなは「おあ上げさー」とほりきったものの、肝心の風が吹いてくれません。走ったり、飛んだりして空高くを飛ばしましたが、風を吹かせない自然の力には勝てませんでした。

でも、大はしゃぎした子どもたちを待っていたのは、おとなたちの手作りの豚汁。日ごろ親しむこのおなじみの汁の上で思いきり動きまわったあと、暖かい豚汁をいただいて、からだはほっかほっか。子どもは生き生き、おとなは童心にかえった楽しいたこ上げ大会でした。

東京・2年ぶりの大雪

東京は2年ぶりの大雪で積雪18センチ。おとなは通勤に不便だったが、団地の子どもたちは大喜びでした。(2月19日朝、団地内で)

こちらは

スケートよ

子どもたちが待ちのぞんでいた自治会の年間行事の一つ「スケート教室」は二月十二日夜「十条アイスパレス」で開かれ、子どもたちとおとな、自治会役員約五十人が参加しました。初参加の人も、コーチの親切な指導のおかげで、帰るころには「スライ、スライ」に近い

くらうすべれるようになって大に楽しめました。

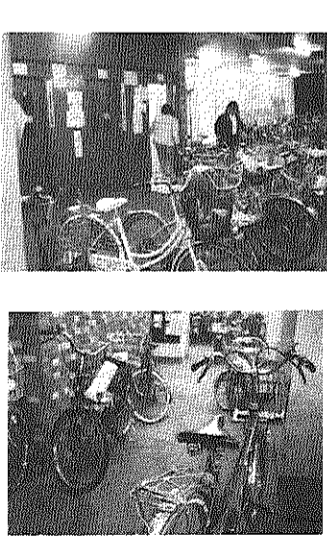
マナー守って気持ちよい団地生活を!

やめよういたずら

写真を見て下さい。エレベーターの押しボタンにこんなものがないたずらをする人がいます。①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

自転車通路あけて

二月四日には、すぐ近くで水ヤがおこりました。火災や地震の際、避難する通路がきつたとき、非常ベルが鳴らなかつた



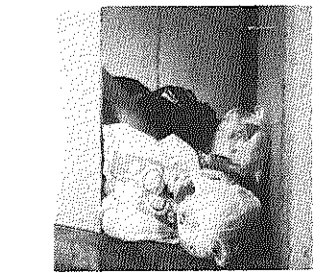
火事はこわいよ

二月四日午前四時半ごろ、六号棟の桜田小側のごみ置き場で火事がありました。幸い王子消防署と自治会員の機敏な消火作業で三十分後には火を消し止めたものの、出火直後、あたりには異様なにおいがたちこめ、黒煙はかなりの上層にまでもうもろとあがって、居住者をおどろかせました。



出火現場はまったく火の気がないところ。すぐ横には「怖いのは『消したつもり』と『消えなはず』」の大きな防火ポスターも張られています。いまちゅうど防火週間、自治会と管理事務所では、たはこの火や子ども火遊びなどには十分に注意するようよびかけています。(写真は焼けてとけたポリ箱など)

この団地でもエレベーターホールや階段付近に自転車がすわたり、がんばって、いて、多くの居住者から「なんともならないか」「歩くのにも不便」との苦情が自治会によせられていました。お互いの安全のため、また気持ちよい団地生活をおくるため、自転車やバイクはきまつたところへきちんと置くように注意しあいたるものです。



自治会の動き	
【1月】	自治会がおこなったこと
20日	第七回役員会
29日	王子地区連合町会新年会
30日	全国自治協の公団本社年会
31日	全国自治協の公団本社年会
【2月】	例懇談会
1日	会報52号発行
1日	灯油チケット夜間販売
15日	灯油チケット夜間販売
16日	灯油供給
21日	第6回運営委員会
22日	スケート教室
23日	灯油チケット販売
23日	灯油供給
23日	23区自治協幹事研修会
24日	「住・都公団の縮小・民営化」反対のチラシ全戸
25日	「住・都公団の縮小・民営化」反対のチラシ全戸
26日	「住・都公団の縮小・民営化」反対のチラシ全戸
28日	東京総決起集会(千代田公会堂)代表十六名参加

灯油代少しアップ

自治会供給の灯油は、このほど業者の状況も考慮し、七十円引き上げ(アップ率七割弱)で18円あたり千円にするごことを認めました。二月十五日のチケット販売の分から実施されたこの値段は、一般の灯油値段に比べてまだ低いものです。つづいてご購入ください。

自治会に入りましょう